

西脇工業高校、感動の甲子園初出場！！



甲子園に行ってきた。

私がかって西脇工業高校の監督をしたこともあり、今回の全国大会出場に昔の同僚や部長とともに応援にかけつけた。

やはり甲子園はいい。高校生の一瞬たりとも手を抜かないプレーとそれを見つめる観客の温かい目。大会は一ナメントであるがゆえ、選手みんなが一投一打に真剣そのもの。それがまた感動を呼ぶ。甲子園は高校野球の聖地そのものだ。

強豪ひしめく兵庫県にあって、公立高校の西脇工業が頂点を極めた。私たちにとってはまさに夢のような出来事だった。兵庫大会では3度のサヨナラ勝ちで粘り強く勝ち進み、創部51年目にして春夏通じて初の甲子園出場を果たした。甲子園は簡単に来れるものではない。ここに来るためにどれだけ多くのことを犠牲にし、とてつもない練習に耐え抜いたことだろう。選手の皆さんの努力に敬意を表したい。

1回戦は島根の石見智翠館高校。かつての江の川高校であり、中日の谷繁選手などを輩出した野球の名門校。初回到1点を先制され浮足立つかに見えたのだが、見事に逆転。翁田投手の好投もあって4対1で甲子園で初勝利した。それも兵庫代表の公立高校として29年ぶりの勝利だった。バス80台でアルプス席に詰めかけた応援団は約4千人。観衆は5万人。チケットは完売で、私たちもアルプス席に入ることはできなかった。勝利の目前9回には、投手の一球一球に地鳴りのような大声援。5万人の大観衆の前でプレーできる選手は幸せだが、応援できる私たちもまたこのうえない幸せだ。

ホームプレートに並び校歌を歌う選手たちは雄々しく、私も34年ぶりに歌った

「西脇工業、高校われらぞ！」

2回戦は千葉の木更津総合高校。この日も大応援団。またもや甲子園は4万7千人の観衆に包まれた。3点を先制され、2点差を追う9回、西脇工業はツーアウト満塁。一打逆転の展開に応援団の声援も最高潮に達した。しかし、無念の一塁ゴロ。西脇工業の追撃は届かず、甲子園の夏は終わった。

敗戦が決まり、一塁側に応援の挨拶に来た選手に対し、スタンドから「よう頑張ったぞ！」「ありがとう！」の温かい声が送られた。



中学校時代には際立つ戦績もなく、卒業後はほとんどの者が就職を考えている田舎の普通の工業高校生の集まり。兵庫県大会でも決して前評判は高くなかった。それでも地味ではあるが堅実なプレーを積み重ね新しい歴史を作った。

選手のみなさん。感動をありがとう。君たちは兵庫県のみならず全国の高校球児にどれだけの勇気と感動を与えたことだろう。

君たちは私たちの大きな誇りだ。

(HP 塾長コラムより抜粋)

■『高校受験土曜特別講座』日程に関してのお知らせ

9月より始まる高校受験土曜特別講座(土曜特訓)ですが、高砂市・加古川市で体育大会の日程が異なるため、日程を以下の通りに変更いたします。

☆9月『土曜特訓講座』実施日

7日	(英・国・社)	英はリスニング実施
14日	(数・理)	神吉中・加古川中
21日	(数・理)	宝殿中・鹿島中
28日	(英・国・社)	英はリスニング実施

時間 午後1時半～5時半

□塾内模試

8/29(木)

◎小学生(2科目) 1:00～2:30

(4科目) 1:00～3:30

◎中3生 1:00～5:00

◎中1・2生 5:00～9:00

英語はリスニング実施

□質問日・ケアデー

8/30(金)～8/31(土)

全学年 2時～5時の間、質問を受け付けます。塾生の参加は自由です。

通常授業はお休みです。

※8/31(土)は中3生の社会を実施 2:00～3:30

◆トピックス

8/10(土) 第一回エクシードフェスティバルを開きました。

当日焼きそば・かき氷・綿菓子・スーパーボール釣りなどの模擬店を開きました。暑い中、たくさんの生徒や卒業生、保護者の方に参加していただきました。

中学1・2年生は部活動や試合があり、参加できない人が多かったのですが、来年度から全員が参加できる仕組みをつくりたいと思います。

